



平成23年3月期 決算短信資料

2011年4月25日(月)
カゴメ株式会社(2811)

<http://www.kagome.co.jp/company/ir/index.html>

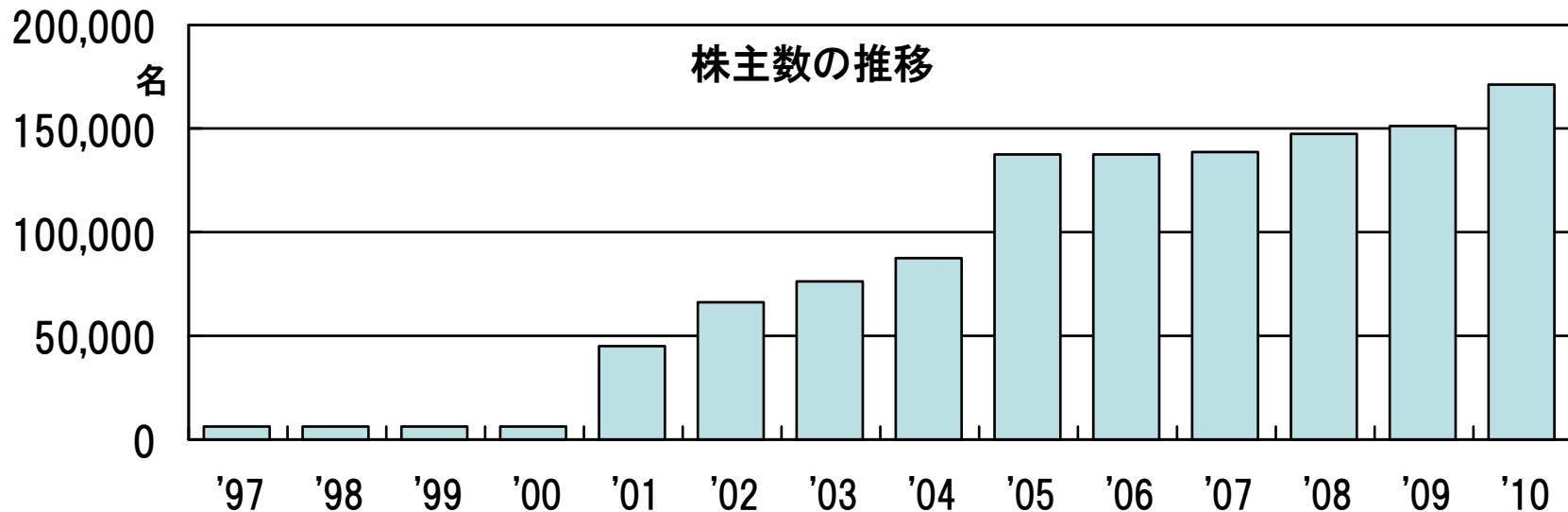
2010年度のトピックス

◆東日本大震災への復興支援

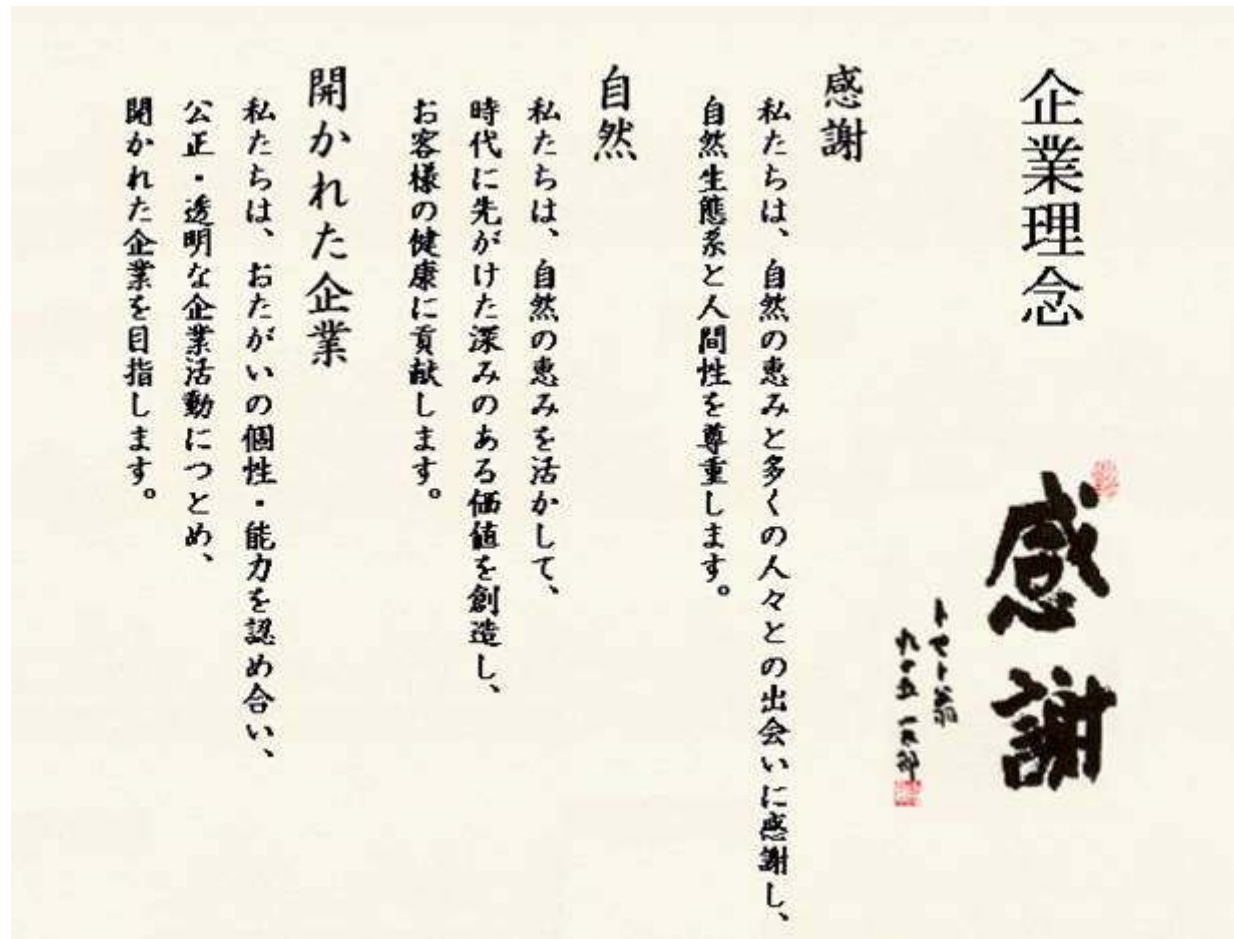
- 義捐金
- 野菜飲料などの物資の提供
- 従業員の有志による寄付

◆株式の売り出し

- 2010年12月実施
- 株主は2万名増加、計17万名に！



企業理念



「感謝」を出発点として、
「共助」の精神に基づき、「皆で支えあう」ように行動し、
更にそのような社会づくりに貢献していく。

連結業績(平成23年3月期)

単位:億円

	09年度	10年度	増減	増減率	公表増減
売上高	1,719	1,813	+94	+5%	+3
営業利益	64	80	+16	+25%	+5
率	3.7%	4.4%			
経常利益	73	84	+11	+15%	+6
率	4.2%	4.6%			
純利益	30	25	▲5	▲17%	+3
率	1.7%	1.4%			

億円未満は四捨五入

※公表増減は、4/4修正値対比

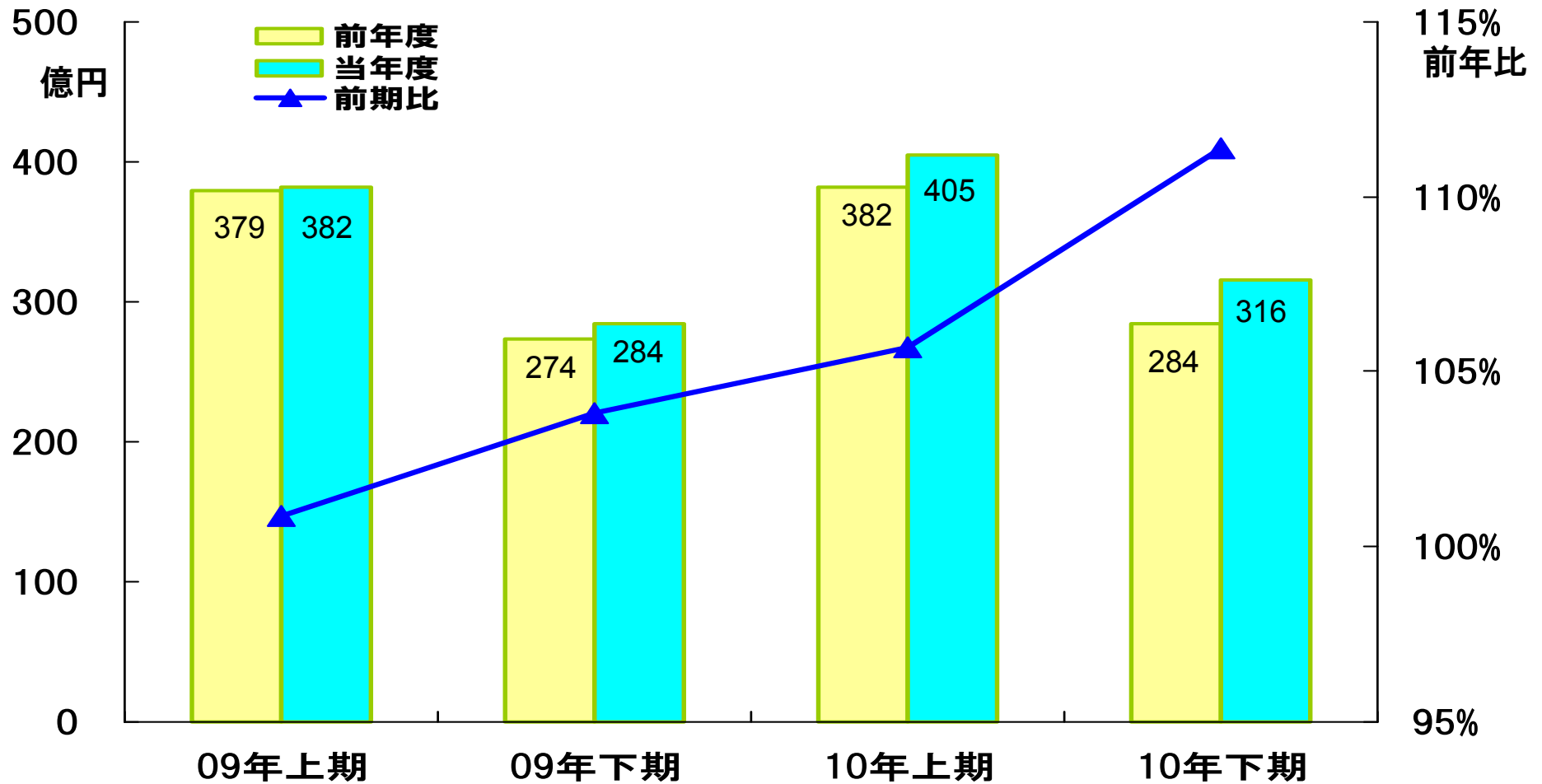
中期目標に対する取り組み初年度として、
成長と持続的な利益獲得に向け、着実な手応えが得られた。

事業別売上高(平成23年3月期)

単位:百万円	09年度	10年度	増減	増減率
飲料	84,085	89,431	5,346	6.4%
食品	28,781	29,903	1,122	3.9%
ギフト	7,429	7,671	241	3.3%
生鮮野菜	6,362	7,235	873	13.7%
メディア通販	6,421	7,039	618	9.6%
国内コンシューマー事業	133,080	141,281	8,201	6.2%
国内業務用	23,406	23,697	290	1.2%
国内その他	12,536	13,030	493	3.9%
国内小計	169,023	178,009	8,985	5.3%
米国	12,548	10,962	▲1,585	▲12.6%
欧州	1,177	1,231	53	4.6%
アジア	1,984	2,315	330	16.7%
豪州	---	1,433	1,433	---
海外小計	15,711	15,942	231	1.5%
セグメント間取引	▲12,796	▲12,646	150	---
連結売上高	171,937	181,304	9,367	5.4%

事業別の状況・・・飲料

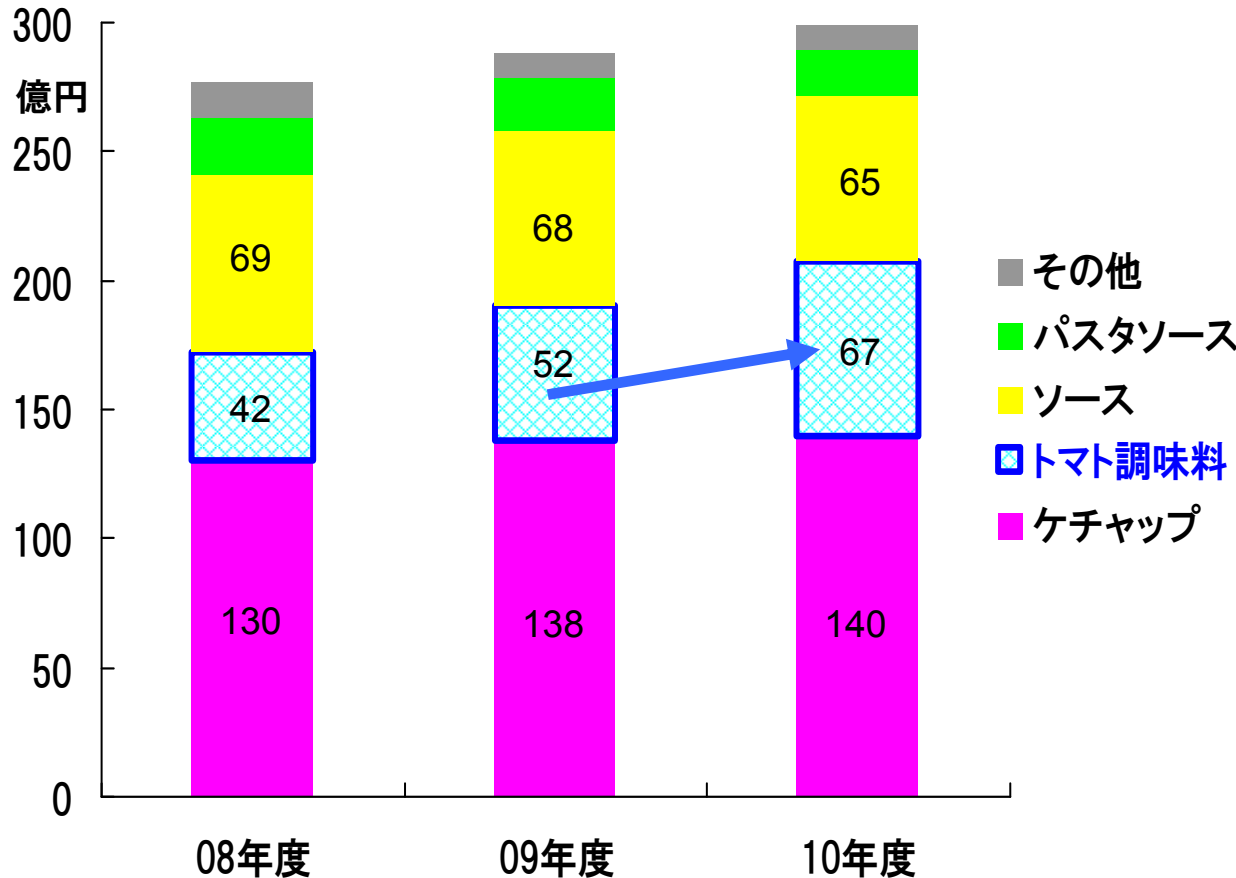
野菜飲料の売上推移



前期比は年間で108%。うち上半期106%、下半期111%。
野菜飲料市場は停滞期を脱し、再成長の軌道に乗った。

事業別の状況・・・食品

食品事業におけるカテゴリ別売上推移



「トマト味」のメニューを広げるチャレンジを続けた1年。
 新しさと驚きの提供に加え、定番メニューとしての定着を目指す。

事業別の状況・・・生鮮野菜

生鮮野菜事業の収益

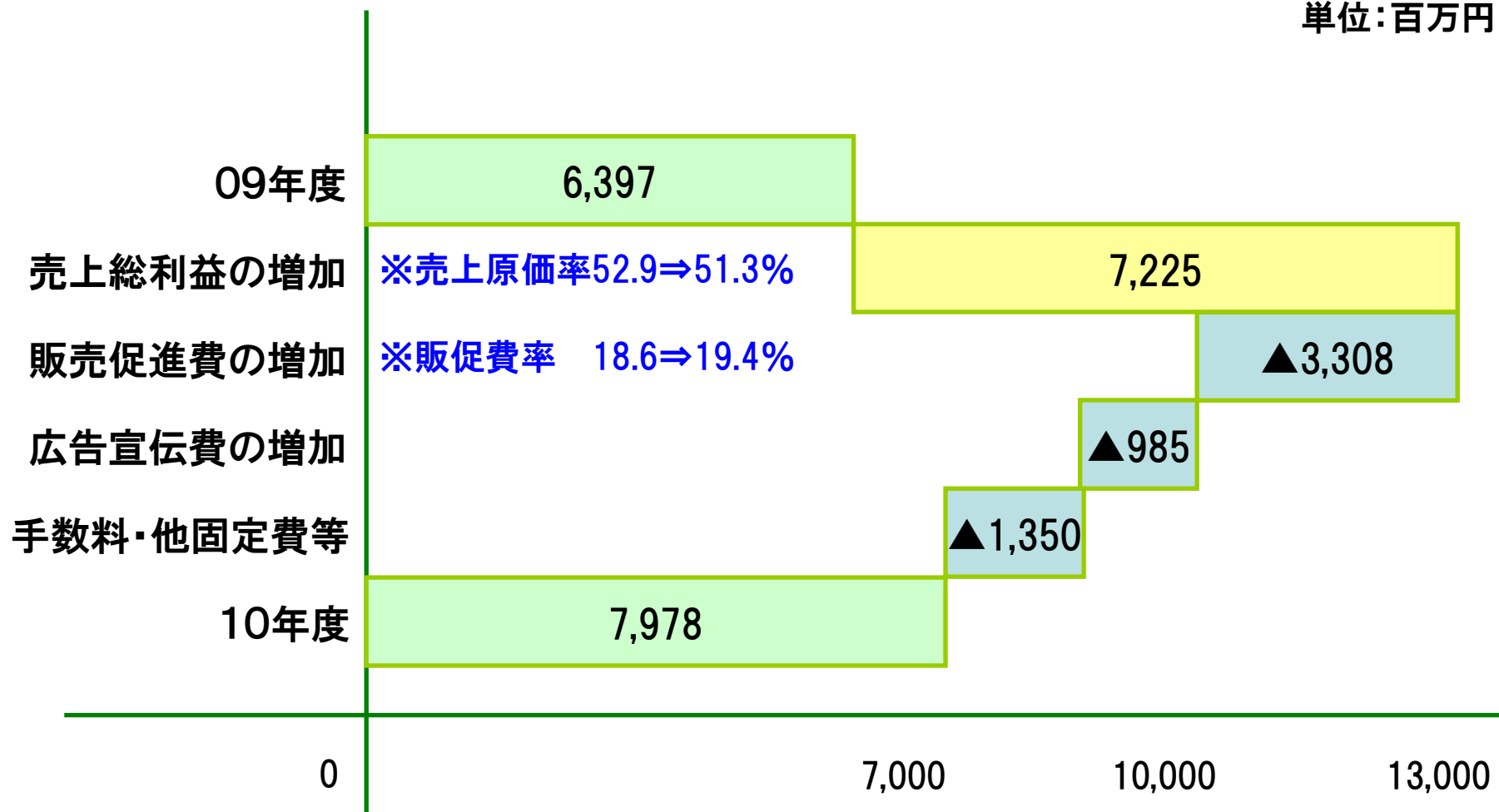
単位：百万円

生鮮野菜事業の収益	10売上高		10営業利益	
		前年増減		前年増減
生鮮事業部	6,227	+284	71	+561
加太菜園	726	+49	52	+40
響灘菜園	996	+171	▲94	+136
いわき小名浜菜園	1,348	▲28	▲75	▲133
世羅菜園(持分法)	927	▲17	100	▲45
財務会計	7,235	+873	▲47	+661
持分営業利益も反映	---	---	54	+559

営業損益はほぼブレイクイーブン。持分法適用会社を加えた実質ベースでは、本格参入12年目にして、念願の実質営業黒字化を達成。

連結営業利益増減要因

単位：百万円



成長のための費用の増加させたが、利益を出せる体質は維持できた。
売上の面でも利益の面でも、着実な成果があった。

特別損失の追加計上（4月4日公表）

◆東日本大震災関連

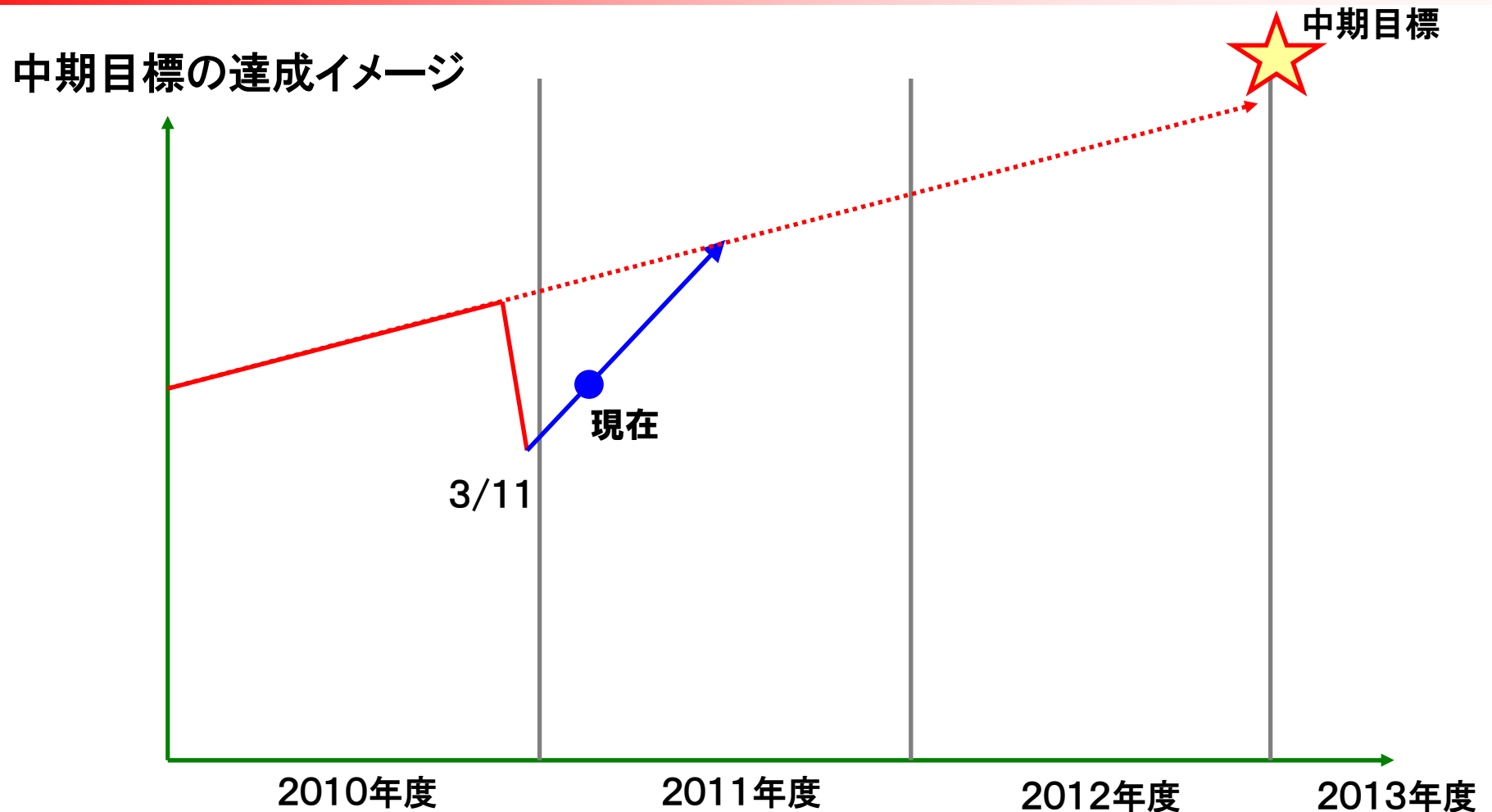
・建物、設備に対する物的被害	12億円
・たな卸資産に対する物的被害	13億円
・その他の被害	3億円
・義捐金などの支援	4億円

◆チルドデザート受託事業からの撤退

三島工場の閉鎖にともなう費用	4億円
----------------	-----

合計： 36億円

現在、置かれている状況の認識



10年度においては、中期計画の進捗度は順調だった。
商品供給力の回復を最優先し、もともとの中期目標達成路線に復帰する。
震災後に新たに認識された課題も組み込んでいく。

2011年度の課題

1. 商品供給力の回復

2. 地域ごとの需要の違いに対応する

エリアマーケティング

3. ポスト3.11 リスクマネジメント

2011年度の課題

1. 商品供給力の回復

既に供給できている商品

飲料	食品	業務用
<p>1Lホームパック 野菜生活オリジナル 野菜生活 紫・黄 野菜これイチ 200ml紙容器 野菜生活オリジナル 野菜生活 紫・黄 野菜これイチ ラブレ80ml 宅配ラブレ ビフィズス乳酸菌 など</p>	<p>ケチャップ ソース など</p> <p>トマトソース(缶)などの 一部の商品を除き供給 可能</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	<p>飲料(1L)などの一部の 商品を除き、供給可能</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

2011年度の課題

1. 商品供給力の回復

完全には復旧できていない要素は大きく2つ

◆生産

	食品	飲料	その他
復旧していない 主な商品	ミートソース缶 トマト調味料缶	野菜飲料缶 ラブレ130ml	ギフト 通販 業務用の一部

◆物流

温度帯	状況	制限①	制限②	
常温	△	リードタイム+1日	アイテム制限あり	拠点変更で対応
冷蔵	○			代替網構築
冷凍	○	リードタイム+1日		拠点変更で対応

2011年度の課題

1. 商品供給力の回復

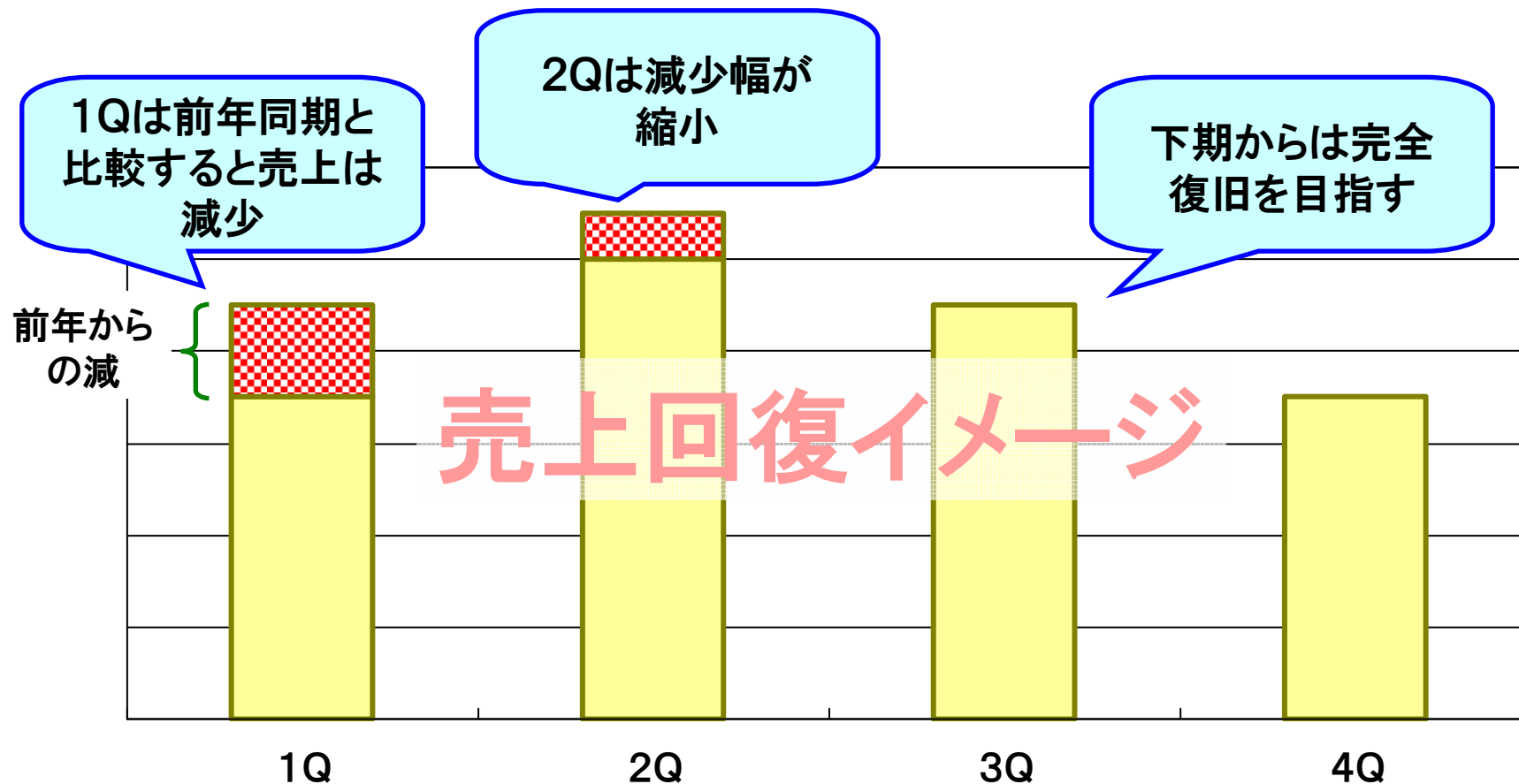
主力商品の今後の見通し

	4月	5月	6月以降
ドライ 飲料			 
チルド 飲料	 主力 900PET 57アイテム 365ml		小PET Refresh!
その他			  通販 ギフト

2011年度の課題

1. 商品供給力の回復

生産体制の復旧が7月以降になるもの
パスタソース、トマト調味料(7号缶) など



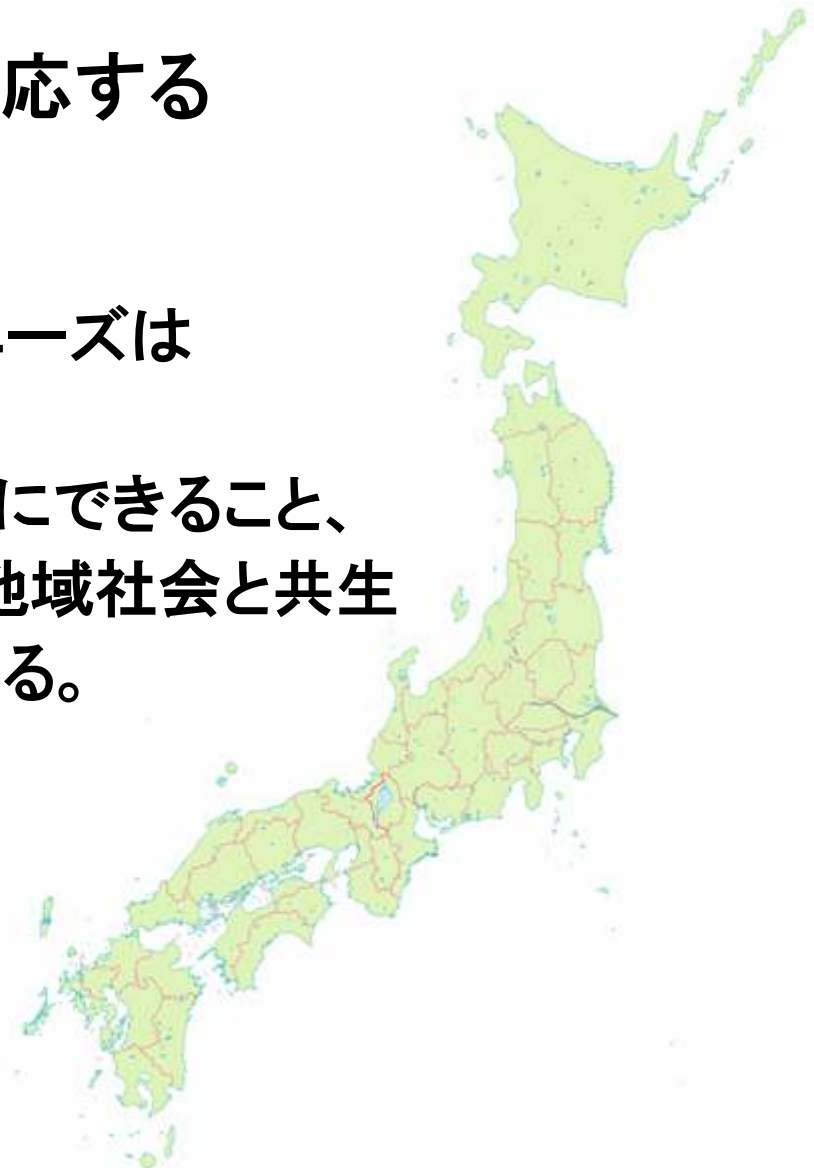
2011年度の課題

2. 地域ごとの需要の違いに対応する エリアマーケティング

地域によってカゴメに求められるニーズは異なっているはず。

お客様の期待にそえるよう、カゴメにできること、カゴメにしかできないことを考え、地域社会と共生するエリアマーケティングを推進する。

- ① 震災復興地域
- ② 電力不足地域
- ③ 通常経済地域



2011年度の課題

3. ポスト3.11 リスクマネジメント

余震や電力問題など短期間では収束しない可能性が高い。
震災での気付きを活かしリスクマネジメントを強化することで、
「震災後」を組み込んだ成長戦略を展開していく。

サプライチェーンの
分散化

安心・安全

海外事業
(生産面のバックアップ
・収益源の多様化)

海外事業・・・アジア

可果美餐飲管理(無錫)有限公司

所在地: 中華人民共和国 無錫市
主な事業内容: 飲食業(オフィス給食)
決算期: 12月
資本金: 300万米ドル
株主構成: カゴメ(株) 70 %
 (株)中日友交商会 30 %



海外事業・・・オーストラリア



豪州最大の生トマト栽培・加工・販売会社



トマトの加工・販売



トマトの栽培・収穫



グループのシナジー創出を目指し、「トマトサミット」を開催

海外での成長と、南半球での原料調達拠点確保とともに、「農業」と「農産加工」における当社グループの強みを深める。
11年度は水害により一時的に収益が悪化。

業績予想

当初の11年度計画

定性把握



定量試算



売上面でのリスク
生産力の制約
電力不足
余震など

利益面でのリスク
コスト上昇
売上原価
物流費など

第1四半期中には
定量的に把握し、
開示

11年度業績予想

中期定量目標と重点事業戦略

変更なし

◆定量目標

連結売上高	2012年度 2,000億円
連結経常利益率	安定的に4%

◆売上高2,000億円を達成するための重点事業戦略

- ① 国内既存事業での新たな需要創造
- ② 新たなチャネル開発
- ③ 海外におけるマルチリージョナルな成長
+ 「震災後」の課題を組み込む

注意事項

当資料はカゴメの現在の計画、見通し、戦略などのうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたカゴメの経営者の判断に基づいております。従いまして、これら業績見通しのみで全面的な依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、以下のようなものが含まれます。すなわち、①天候、特に夏場の低温 ②異物混入等の製品事故 ③カゴメの事業領域を取り巻く経済情勢、特に消費動向 ④変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品やサービスをカゴメが企画・開発し続けていく能力、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また当資料は、あくまでカゴメをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。さらに当資料に記載されている市場などのデータ等におきましても、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した情報に基づき作成しておりますが、将来の予測のみならず過去の部分も含めて、見直し等により予告なしに変更することがありますので注意ください。